

# 台湾・高雄YMCAと未来をつくる交流

## 若者をつなぐ国際交流プログラムへ第一歩



熊本YMCAと台湾南部にある高雄YMCAとの初めての公式交流として、7月8日(水)～13日(月)に高雄YMCAから理事長の張弘さん(写真前列右から2番目)、総主事の蔡政甫さん(前列左から1番目)、副総主事の盧弘健さん(後列左から3番目)、秘書で通訳の賴坤瑀さん(後列左から2番目)の4名を迎えました。

熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターで「役員会談」を実施したほか、みなみグローバルコミュニティセンターやYMCA水前寺幼稚園、YMCA阿蘇キャンプ、益城町総合運動公園、御船町スポーツセンターなどを視察。熊本YMCAの役員らとの交流会も実施しました。また、熊本県知事への表敬訪問や熊本市立必由館高等学校の訪問もなされました。



### 高雄・熊本YMCA役員会談



7月9日(木)に実施した役員会談では、はじめに熊本YMCA会長の吉本貞一郎さんが「皆様をお迎えすることが新たな国際交流プログラムを考えるいい機会になればと思っています。YMCA運動を進める仲間として心から歓迎します」と歓迎の挨拶を述べ、高雄YMCAから理事長の張弘さんが「高雄YMCAはまだまだ勉強することがたくさんあります。よろしくお願いします」と述べました。その後、互いのYMCAの組織や特色ある事業について紹介しました。

熊本YMCAから歴史や県内の拠点、主なプログラム、地域活動、国際交流等の説明を受け

た高雄YMCA総主事の蔡政甫さんは「胸の奥がワクワクしました。高雄YMCAは運営が厳しかった時期もあり、YMCAのプログラムを再建したいと考えています。これから熊本と交流を深めていきたい」とコメント。熊本YMCA総主事の伊藤眞太郎さんは「日本の若者は個人主義が進んでいます。若者たちに国境、宗教をこえた交流の機会をつくっていきたい」と述べ、今回の交流を契機として、今後も継続的な交流や情報交換を行いながら、新たな国際交流プログラムを共に作り上げていくことが確認されました。

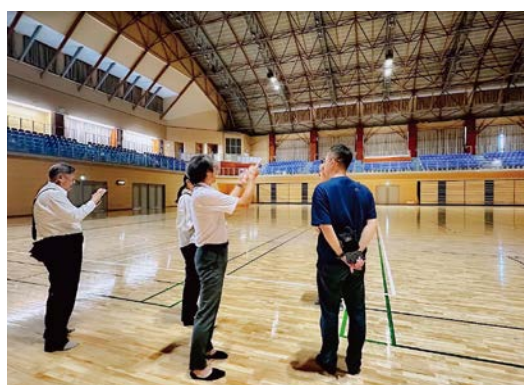
### 交流の一コマ

#### 熊本県知事への表敬訪問



高雄市と友好交流協定を結ぶ熊本県の木村知事を表敬訪問し、YMCAを通じた官民での文化・教育交流の更なる深化に向け、有意義な意見交換を行いました。

#### スポーツ施設を視察



ユナイテッドトヨタ キズナパーク益城(益城町総合運動公園)および御船町スポーツセンターの視察では、設備や運営について理解を深めました。

#### 水前寺幼稚園で子どもたちと交流



施設見学に加え、園で実施している体操教室や英語教室に子どもたちと一緒に参加し、保育の様子を体験しました。園の運営についての質疑応答も行われました。

## R | E | P | O | R | T

## 会員大会

## 未来へ思い共有 行動宣言を掲げる



熊本YMCA定時会員大会実行委員長  
吉岡久美

5月29日(金)、熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターを主会場に、YMCA阿蘇キャンプをオンラインで結び、「2026年度熊本YMCA定時会員大会」を開催しました。

礼拝では、日本バプテスト東熊本キリスト教会の三上充さんが「イサク、それでも彼は笑うことができる」をテーマに奨励。続く表彰式では、維持会員として10年・20年・30年・40年・50年在籍された皆

さんを表彰しました。50年表彰の西原稔さんが代表して挨拶。70年表彰として事前に感謝状を贈呈していた山本了さんの動画メッセージも紹介されると会場から大きな拍手が送られました。

報告会では、2025年度事業報告・収支決算報告、監査報告、2026年度事業計画・収支予算を共有。その後のグループディスカッションでは、「連携・連帯・連動 YMCAの仲間である会員が増えるために私たちができること」をテーマに意見交換がなされ、最後は、一人ひとりが記した「私の行動宣言」を手に記念撮影を行い、大会を締めくくりました。



16 定時会員大会をすべての人に



17 パートナシップで目標を達成しよう



## ユース

## 決意を新たに リーダー入会式



東部グローバルコミュニティプラザ  
下田大雅

6月7日(日)、熊本YMCA東部グローバルコミュニティプラザで「2026年度熊本YMCAリーダー入会式」を開催しました。当日は来賓を含む33名が参加し、新たに19名のリーダーへ委嘱状が授与されました。式では、一人ひとりに委嘱状が手渡され、リーダーたちはYMCA運動を担う一員としての自覚と責任を新たにしました。リーダー代表による決意表明では、熊本YMCAの使命の実現に向けて自ら学び、

仲間と協力しながら行動していく決意が述べられました。また、式の司会は社会人リーダーが務め、世代を超えたリーダー同士のつながりや一体感も感じられました。

参加したリーダーからは、「今回の入会式を通して、子どものために自分自身何ができるのかを改めて考え、その上でリーダーとしての活動を精一杯頑張ろうと思います」との感想が寄せられました。入会式を通して、リーダー一人ひとりがYMCA運動の担い手としての自覚を新たにし、今後の活動への思いを深める機会となりました。



4 若い思い・理想をみんなに



17 パートナシップで目標を達成しよう



## 地域活動

## いのちを守る ウォーターセーフティー



ながみねファミリーセンター  
宮本真実

YMCAでは、水難事故が多発する夏を前に、子どもたちを水の事故から守るため、「ウォーターセーフティキャンペーン」を展開しています。

熊本YMCAでは、水泳教室において30年以上にわたり「着衣泳体験」を実施しているほか、1995年からは幼稚園・保育園・小学校などへの体験学習や特別授業を実施しています。

また、6月には「みんな泳げる25m運動」と題し、

水泳に苦手意識のある近隣小学校の児童をYMCAのプールへ招待し、特別プログラムを実施しました。最初は顔を水につけたり、もぐったりすることが精一杯だった子どもたちも、浮き身や泳ぎの練習に積極的に挑戦しました。25mを泳ぎ切ることができた子どもたちの達成感あふれる表情や、水に対する前向きな気持ちの変化に、保護者の皆さんからも喜びと感動の声が寄せられました。

これらの活動を通して、一人ひとりのかけがえない命が守られ、健やかに育まれていくことを願っています。



3 すべての人に健康と福祉を



4 若い思い・理想をみんなに



## 保育

## 日頃の感謝をこめて 花の日



YMCA赤水保育園  
椎葉朋子

「花の日」は教会に通う子どもたちがそれぞれに花を持ち寄り、病院に入院している人たちを慰問していたことに由来しています。

熊本YMCAでは保育園、幼稚園、幼児園に通う子どもたちが毎年近隣を訪問し、日頃の感謝の気持ちを伝える機会としています。阿蘇の保育園では、いつもお世話になっている皆さんや、保育園近くにお住まいの一人暮らしのお年寄りのところへお花

を届けに行っています。

赤水保育園は市役所や郵便局、地域の区長さんや民生委員さんに届けてきました。子どもたちが「これからもお仕事がんばってください」と自分たちが持ち寄った花束を渡すと、「きれいなお花をありがとうございます。お仕事がんばります」と応えてくれました。その後、讃美歌の「このはどのように」を手話で披露すると、とてもうれしそうに「上手ね」と子どもたちに拍手が送られました。

これからも周りの皆さんに感謝の気持ちや、癒やしを届けに行きたいと思っています。



3 すべての人に健康と福祉を



16 平和と公正をすべての人に



## R | E | P | O | R | T

## 防災

## 備えを未来へつなぐ 地域と学ぶ防災まつり



本館／グローバルコミュニティセンター  
丸目陽子

6月6日(土)、熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターで「防災まつり～熊本地震から10年。語り継ぎ、備える未来～」を開催しました。熊本地震から10年の節目に地域の皆さんとともに防災について考え、日頃の備えの大切さを学ぶことが目的で約100名が来場。マンホールトイレ体験、防災食作りなどをスタンプラリー形式で実施しました。

本館では初めての取り組みでしたが、3つの点で

実施したことの意義を改めて感じることができました。①「連携」消防やNPO、ボランティア、地域、運営委員やワイズメンズクラブ、職員が連携して開催。②「訓練」会員や職員が設備を実際に使うリアルな経験③「楽しむ」興味関心を持って気づきや学び、身につけることは、楽しみながら。

多くの団体や地域の皆さんの協力のもと、防災を身近に感じ、災害への備えを改めて考える一日となりました。熊本YMCAはこれからも地域と連携し、安心して暮らせるまちづくりにつながる防災・減災の取り組みを進めていきます。



## チャリティ

## 笑顔でつながる支援の輪 ボウリング大会開催



YMCAフィランソロピー協会 幹事企業  
NTT西日本熊本支店 佐藤誠

YMCAフィランソロピー協会は6月12日(金)、児童養護施設の子どもたちへの支援を目的とした「第21回チャリティボウリング大会」をスポーツ熊本で開催しました。大会には9企業・団体と児童養護施設「藤崎台童園」を含む20チームが参加。レーン内での名刺交換などを通して、組織の枠を越えた親

睦を深めました。

ストライクごとに100円を募金するチャリティ募金にも多くの協力が寄せられ、会場は終始笑顔に包まれました。今回、子どもたちに「自分たちを支えてくれる大人の存在」を知ってもらう機会をつくれたこと、そして参加企業の皆さんにとっても子どもたちとの交流がボランティア活動の励みとなったことが大きな収穫でした。寄せられた益金は子どもたちの支援に大切に活用します。



## 国際交流

## 深まる交流 笑顔あふれる学びの時間



熊本YMCA学院 宮崎正弘

6月22日(月)、熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターを会場に必由館高校の生活デザインコース3年生29名と熊本YMCA学院国際ビジネス科の学生による交流会を実施しました。このプログラムは、必由館高校の「グローバルイングリッシュ」の課外授業「多文化交流」の一環として行われたもので、高校生と6カ国の留学生らが異文化理解を深めることを目的に開催しました。

交流会では、国際ビジネス科の授業で取り組んでいるビジネスゲームを実施。自然と会話が生まれ、国籍や言語の違いを越えて協力し合う姿が見られました。交流会終了後も名残を惜しみながら会話を続ける参加者の姿が見られました。

参加した必由館高校の中田千世さんは、「進路の話や経験談を聞くことができ、参考にしたいと思いました」、国際ビジネス科のグルン・ブルニマさんは、「高校生との交流を通して話すことの大切さを学び、良い経験になりました」と振り返りました。



熊本YMCA 総主事  
伊藤真太郎

マナ Vol.13

## ～そんなにたくさんはないよね～

今年の梅雨明けは、「梅雨が明けたな」と実感する梅雨明けでした。「待っていました!」と言わんばかりにセミが鳴きはじめ、空には入道雲も見られるようになり、一気に夏模様に。みなさんは夏といえば何を思い出しますか。私は、やっぱり夏といえば「キャンプ」です。海や山や川。いろいろな思い出と共に、夏のおいが鮮やかに思い出されます。

YMCAのキャンプではよく歌を歌います。その中で私が大好きなキャンプソングが『おひさま、ともだち、やさしい心』という歌です。歌詞の中に、こんなフレーズがあります。

「大切なものなんて、そんなにたくさんはないよね。ともだちとおひさまとそれからやさしい心」  
とても素敵な歌詞ですね。あの夏の、あのキャンプを思い出しながら、ふと大人になるにつれて、いろいろなものを抱え込み、欲張りになっていく自分に気づかされました。

私たちは日々、とことんそれぞれの実務に向き合っています。だからこそ、キャンプで自然の中に身を置く子どもたちの姿を見ていると、ハッとさせられる瞬間があります。彼らは、お互いに全力で競い合い、切磋琢磨する中にも、当たり前のように援け合い、分かち合う豊かな心をその根底に持っているのです。キャンプは、生活を仲間と共にする中で、そうした社会の営みの土台となる「大切なもの」を改めて確かめ合い、「共に生きる」ことを身体で体験するプログ

ラムなのだと感じます。

さて、今年の夏は何をしよう。梅雨明けと同時に一斉に鳴き始めたセミの賑やかな大合唱を聞きながら、あれもしたい、これもせねばと、頭の中の「やりたいことリスト」はあれこれと膨らむばかりでした。そんな私に、セミはまるで『そんなにたくさんはないよね、そんなにたくさんはないよね』と、毎日歌ってくれているようです。大自然の圧倒的な豊かさの前で、あれもこれもと欲張っていた自分という人間の小ささに、思わずクスッと苦笑いしてしまいます。セミたちにいっぱい取られたような心地よさを感じながら、まずは身の回りにある、そんなにたくさんはない大切な一つひとつをちゃんと大切にしよう。そう心に決めた、情緒あふれる梅雨明けでした。

## わたしのYMCAストーリー

## X ワイズメンズクラブリレーコラム

2026年6月のワイズメンズクラブ国際協会西日本区大会において、元熊本YMCA会長の菅正康さんに最高峰の栄誉である「奈良傳賞」が授与されました。同賞は日本のワイズメンズクラブの創始者・奈良傳氏の偉業を記念した最も名誉ある賞です。1986年の維持会員登録以来、常議員や会長として熊本YMCAを長きにわたり支え続けてこられた菅さんからのメッセージをご紹介します。

※ワイズメンズクラブ国際協会は、YMCAをサポートする世界的な奉仕団体です。



「奈良傳賞」授与の様子



## 情熱がつなぐ奉仕のバトン

熊本YMCA元会長 ながみねFC運営委員会  
熊本ひがしワイズメンズクラブ  
菅 正康

この度の「奈良傳賞」の受賞は、共に歩んできた熊本のメンバーのみんなのおかげだと深く感謝している。私とYMCAの出会いは約45年前、新町の英会話スクールに通い始めたことだった。その後、先輩方の熱い思いを受け、熊本バンドの生みの親の名を冠した「ジェーンズワイズメンズクラブ」の創設会員として活動を開始した。「クラブを拡張してYMCAを支援しよう」という先輩方の期待にふれ、私もその「ワイズ・スピリット」に深く感化されながら、青少年の育成と社会奉仕の道を歩み始めることとなったのである。

ワイズメンズクラブの最大の魅力は、仕事の利害関係や社会的地位に関わらず、「やる気のある人間が等しく尊重される場」であることだ。多様な人々が集まるこのネットワークこそが「一生の宝物」であり、打算のない純

粋な交流がYMCAを支える原動力となってきた。「情熱がなくなったら終わり。その情熱を次の世代に伝えることが大事だ」という強い信念のもと、心の火を絶やさないことの重要性を私は活動を通じて実感してきた。この深い人間関係と絶え間ない情熱こそが、私の活動の基盤であり受賞の原点である。

未来のYMCAを担う次世代や現役スタッフの皆さんに向けて、私は「人持ちになること」の重要性を伝えたい。スタッフが会員一人ひとりの背景や特技、知識を深く把握し、壁をつくらずに「仲間」として頼り、積極的に巻き込んでいく姿勢が、組織に新しいエネルギーを生み出すのである。

また、現代の若者が抱える貧困や将来への不安といった深刻な課題に対し、YMCAは単なる活動の場にとどまらず、彼らの「人生設計を支援する場所」であるべきだと考えている。熊本バンドの精神を受け継ぎ、形を変えながらも次世代へと確実にバトンをつないでいくことが私たちの使命だ。「自分はただ先輩方の真似をしてきただけ」かもしれないが、その背中を見て次のロールモデルが着実に育ってくれることを願っている。若者たちが夢を持てる社会を目指し、ワイズメンズクラブとYMCAが一体となって支援を続けていくことを期待し、未来を担う皆さんへ力強いエールを送りたい。

## I n f o r m a t i o n

## YMCA祭



熊本YMCAでは、各地域で開催するお祭りやイベントを通して、地域の皆さんとの交流を深めるとともに、チャリティ活動にも取り組んでいます。収益の一部は、YMCAの地域支援活動や国際協力活動などに活用されます。楽しみながら社会貢献につながるYMCA祭へ、ぜひご家族やお友だちとお越しください。

|                                   | 会場                                                | 開催日時                        | 主な内容(予定)                              |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| ながみね祭                             | ながみねファミリーセンター<br>Tel 096-353-6391 (音声ガイダンス3)      | 9月19日(土)<br>16:00~19:00     | 食バザー・のみの市・ステージ発表・ゲームなど                |
| むさしグローバルコミュニティセンター<br>デイキャンプ      | むさしグローバルコミュニティセンター<br>Tel 096-353-6391 (音声ガイダンス4) | 9月20日(日)                    | お預りプログラム&野外教育活動                       |
| サザンフェスタ                           | みなみグローバルコミュニティセンター<br>Tel 096-353-6391 (音声ガイダンス2) | 9月27日(日)<br>11:00~15:00     | 食バザー・のみの市・ステージ発表・ゲームなど                |
| わいわい秋まつり                          | YMCA熊本五福幼稚園<br>Tel 096-352-2981                   | 9月12日(土)<br>16:30~19:00(予定) | 食バザー、ゲーム、光るグッズ販売、チャリティバザー等            |
| 前進祭                               | 本館／グローバルコミュニティセンター<br>Tel 096-353-6391 (音声ガイダンス1) | 10月25日(日)<br>10:30~15:00    | 食バザー・のみの市・ステージ発表・ゲームなど                |
| あそまつり<br>(阿蘇の4保育園・YMCA阿蘇キャンプ合同開催) | YMCA黒川保育園<br>Tel 0967-34-0402                     | 11月7日(土)<br>11:00~14:00(予定) | キッチンカー、のみの市、チャリティビンゴ大会、各園児ステージ発表などを予定 |
| 東部わいわい祭                           | 東部グローバルコミュニティプラザ<br>Tel 096-382-6661              | 11月8日(日)                    | 食バザー、のみの市、ステージ発表など                    |

発行所／(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1  
TEL 096-353-6397(代)

発行人／伊藤 真太郎 編集／熊本YMCA ICR  
定価60円 購読料は会費に含む

[www.kumamoto-ymca.or.jp](http://www.kumamoto-ymca.or.jp)



公式LINE

## 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

## 2026年度基本聖句

ヨハネの手紙 - 3章18節  
子たちよ、言葉や口先だけではなく、  
行いをもって誠実に愛し合おう